

令和7年12月17日

臨床倫理研修会開催

当院の臨床倫理部会が発足され、3年目を迎え、3回目の研修を開催しました。



| 数字的事項ないし適応 | | 患者の意向 | |
|--|--|---|--|
| CASE①4分割表 | | | |
| <医療倫理4原則> ①自立尊重：患者が自分にとって最善の選択ができるよう必要な情報を伝え、患者の自己決定を尊重する。 ②善行：患者にとって最善を尽くす。 ③無危害：患者に危害を与えない、危害のリスクを負わないようにする。 ④公正・正義：すべての人に平等かつ公正な医療を提供する。 | | ・早く退院したい。 ・NIGグループは嫌（入院中3回自己除去） ・トイレはもっと嫌（廊下で引張り、何回か自分で外している） ・トイレを汚そうとして菌が附いた。 ・食べたくないのに食べようとする。 「こんなことでも意味がない」と命懸けの食事はずりて食べたくない。好きな物を好きな時間に食べたい（感謝、菌が作ったスープ） | |
| GOLなど ・夫と共に特別介護老人ホームに入所中 ・施設前に入浴以外のADLは自立 ・NIGグループ購入、延命治療は希望していない ・これまで施設に暮らす。退院が状況に反応する力は弱いのではない（長女より） ・今が人生の中で一番困難な状況 | | 看護の状況 ・長女は市内在住、本人の好物を差し入れるなど協力的 ・施設は看護経験のある患者の入所は不可だが看護は可能 ・施設に居るための期間が決められていた ・長女はもとの施設に戻ってほしいと希望している ・もとの施設に入所できなかったら、対応可能な施設へ方針変更を検討 | |

今年度は臨床倫理カンファレンスの模擬体験を行いました。
臨床倫理カンファレンスは倫理的問題を多角的視点で患者さんやご家族の意見や思いを尊重し、多職種での話し合いの中で自由に意見を出し合って最善の医療やケアを目指す目的があります。
今回この研修には職員が47名参加し、6グループに分かれて活発な意見交換が行われ、有意義な時間となりました。
実際の現場でもこのような臨床倫理カンファレンスが開催できるよう、部会メンバー一同精力的に活動していきます！

臨床倫理部会委員長 増田諭紀